

# 第72回

## 近畿中学校長会研究協議会奈良大会

誌上開催

### 1 大会主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」  
～様々な社会の変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力を育む～

### 2 主催 近畿中学校長会 奈良県中学校長会

### 3 後援 奈良県教育委員会 奈良市教育委員会 奈良県都市教育長協議会 奈良県町村教育長会 全日本中学校長会

### 4 予定されていた期日 令和3年6月17日(木)・18日(金)

### 5 予定されていた日程

6月17日(木) 会場：リガーレ春日野 〒630-8113 奈良市法蓮町757-2  
電話0742-22-6021

14:00 14:30 17:00 18:00

	受付	理事会 専門委員会	感謝状 贈呈式	交流会
--	----	--------------	------------	-----

6月18日(金) 会場：なら100年会館、ホテル日航奈良

9:20 9:50 10:40 11:05 12:20 13:20 16:00

受付	開会式	全体会	文部科学省 行政説明	昼食移動	研究協議・分科 会	
----	-----	-----	---------------	------	--------------	--

### 6 全体会場 なら100年会館

### 7 分科会場 なら100年会館 ホテル日航奈良

分科会	人数	会場
第1分科会 教育課程	328	なら100年会館(大ホール)
第2分科会 生徒指導	223	なら100年会館(中ホール)
第3分科会 人権教育	140	ホテル日航奈良(4F羽衣)
第4分科会 進路指導	220	ホテル日航奈良(4F飛天A)
第5分科会 学校経営	220	ホテル日航奈良(4F飛天B)
第6分科会 地域と学校	140	ホテル日航奈良(5F天空)

## 8 分科会協議事項

分科会		協議題
第1分科会	教育課程	創意ある「社会に開かれた教育課程」の編成と実施上の諸課題
第2分科会	生徒指導	豊かな人間関係を育み、規範意識を醸成しながら自己実現を図る生徒指導
第3分科会	人権教育	確かな人権意識と実践力を育てる人権教育の充実
第4分科会	進路指導	自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力を育む進路指導
第5分科会	学校経営	学校経営と教育改革の推進
第6分科会	地域と学校	地域に開かれた、信頼される学校づくり

## 9 大会参加

近畿2府4県の中学校長 1,271名 (令和2年度会員数)

- ・原則として全員参加とする。
- ・分科会参加人数は、会場定員を勘案して各府県に当てる。

## 10 誌上開催による資料代

・資料代 1,000円

【大会開催時に予定されていた参加費】

・参加者 大会参加費 4,000円 弁当代 1,200円

## 11 大会事務局

所在地 〒634-0061 奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内

奈良県中学校長会 事務局

TEL 0744-29-8331 FAX 0744-29-8332

メールアドレス: kouchoukai83nara@yahoo.co.jp

## 《 全体会場 》

なら100年会館 大ホール

〒630-8121 奈良県奈良市三条宮前町7-1

TEL 0742-34-0100

## ☆周辺アクセス

- ・JR大和路線(関西線)、奈良線、桜井線「JR奈良駅」(西口)から300m
- ・近鉄奈良線「近鉄奈良駅」より徒歩900m または市内循環バス内回りJR奈良駅下車

## 《 分科会場 》

なら100年会館、ホテル日航奈良(なら100年会館から徒歩200メートル)

# 大会主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」  
～様々な社会の変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力を育む～

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、人工知能（AI）の飛躍的な進化を代表とする絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は劇的に変化しており、予測が困難な時代となっている。このような時代にあって、子供たちが持続可能な社会の創り手となることができるように育成することが中学校教育の大きな使命である。また、学校教育には、子供たちが、様々な社会の変化に積極的に向き合うとともに、よりよい社会を創り出していくために、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成して新たな価値を生み出していく力を身に付けることが求められている。

今年度から全面実施されている学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を重視し、子供たちが未来社会を切り拓くために必要な資質・能力を一層確実に育成することを目指している。「何ができるようになるか」を明確にし、学習の質を一層高めるために、学びの在り方を問い直した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進や教科等の目標や内容を見渡し、教科等横断的な学習を充実させるためのカリキュラム・マネジメントの推進も示されている。

「第72回近畿中学校長会研究協議会奈良大会」においては、今年度の中学校学習指導要領の全面実施に伴い、校長相互の連携をもとに、新たな教育課題に対して、揺らぐことのない教育理念と先を見通す広い視野を持って果敢に挑戦し、教育課程の改善、充実を図っていかねばならない。改めて、新しい時代に求められる資質・能力の確実な育成に資するために、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」を主題としてさらに研究を深め、社会からの要請や期待に応え、新しい時代にふさわしい学校教育を追求していきたい。

# 分科会協議題

## 第1分科会〈教育課程〉「創意ある『社会に開かれた教育課程』の編成と実施上の諸課題」

学習指導要領の理念や今日的課題への対応の視点から、創意ある「社会に開かれた教育課程」の編成・実施に努め、その成果を評価し、今後に生かすことが重要である。

- 「主体的・対話的で深い学び」により知識・理解の質を高め、これからの時代に求められる資質・能力を育む創意ある教育課程の編成及びカリキュラム・マネジメントの推進
- 知識及び技能を活用しながら課題を発見し、解決する主体的・協働的な学びの工夫
- 「特別の教科 道徳」を通じた道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための工夫

## 第2分科会〈生徒指導〉「豊かな人間関係を育み、規範意識を醸成しながら自己実現を図る生徒指導」

価値観の多様化や情報化の急速な発展と相まって人間関係の希薄化が進行する現代社会において、社会性や自己肯定感、自己有用感を高め、家庭や地域、関係機関と連携を図りながら生徒自らが自己実現を図れる能力を育むことが重要である。

- 望ましい人間関係の構築や互いに高め合う集団活動の充実
- 規範意識や社会性を高め、自己実現を図るための生徒指導体制の充実
- 家庭・地域社会・専門家・関係機関との組織的・機能的な連携の推進と児童虐待や自死を防ぐ手立ての構築

## 第3分科会〈人権教育〉「確かな人権意識と実践力を育てる人権教育の充実」

同和教育の中で積み上げられてきた成果を踏まえ、あらゆる教育活動を通じて人権教育を推進し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める態度、行動の育成が重要である。

- 人権尊重の視点に立つ学校づくり
- 体験を取り入れた指導方法や指導体制の工夫
- 特別な支援の必要な生徒等、個々の教育的ニーズに応じた教育活動の推進

## 第4分科会〈進路指導〉「自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力を育む進路指導」

キャリア教育の視点で社会的・職業的自立を目指し、生徒自らが生き方を考え、将来への夢と希望をもって主体的に自己の進路を選択する力や、それぞれの個性・能力を伸ばし、生涯学習社会において自立的に生き抜くために必要な基礎的・汎用的能力を育てることが重要である。

- 主体的に進路を選択できる力を育てる進路指導の充実
- 職業体験等の活動やガイダンス機能を生かした進路指導の充実
- 高等学校の多様化と入学者選抜制度の現状と課題への対応

## 第5分科会〈学校経営〉「学校経営と教育改革の推進」

複雑化・多様化した課題が増加し、学校の果たす役割が一層強く求められている。教育改革に対応できる「チーム学校」としての体制を整えるとともに、教職員の資質・能力の向上に努めねばならない。校長には組織活性化のためのリーダーシップやマネジメント能力を発揮することが求められる。

- 組織マネジメントの推進等校長のリーダーシップによる改革と適切な学校評価
- 学校経営に積極的に関わる次代を担う人材育成
- 学校における危機管理や小中一貫教育などの今日的課題への対応

## 第6分科会〈地域と学校〉「地域に開かれた、信頼される学校づくり」

学校・家庭・地域社会の協働による良好な連携のもと、学校評価システムや学校評議員制度、学校運営協議会等の運用により教育効果を一層高め、地域とともにある信頼される学校づくりを進めることが重要である。

- 学校だよりやホームページなどの情報発信による地域に開かれた学校教育の推進
- 地域の自然や歴史・産業、文化財及び人材の活用等、地域の教育力を生かすシステムの構築
- 学校評価、学校評議員制度、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等の推進・活用と地域住民の学校運営への参画